

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年06月23日

計画の名称	松伏町公共下水道（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	松伏町													
計画の目標	下水道施設における安全性向上のため地震対策を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		64	A	64	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H26当初）	（H28末）	（H30末）
1	緊急輸送道路内にて液状化対策が必要な人孔96箇所（H26）を全て対策済（H30）にする。人孔浮上防止工事を行う。			
	緊急輸送道路内にて液状化対策が必要な人孔96箇所（H26）を全て対策済（H30）にする。人孔浮上防止工事を行う。	0箇所	52箇所	96箇所

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
総合地震計画														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松伏町	直接	松伏町	管渠（ 汚水）	改築	人孔浮上防止工事	9 6 箇所	松伏町						64		策定済
		総合地震計画																	
											小計						64		
											合計						64		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
松伏町都市計画審議会条例に基づく、都市計画審議会	令和5年6月23日
	公表の方法
	松伏町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	人孔浮上防止工事を実施したことで、地震の際、液状化が懸念される人孔への対策ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画における事業は、計画期間5ヵ年において事業を実施してきた。 今後は、町の財政事情を踏まえつつ、必要に応じて污水管渠など、人孔以外の耐震化を進めていけるよう努めていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	緊急輸送道路内にて液状化対策が必要な人孔 9 6 箇所		
	最 終 目標値	96箇所	1 箇所は別工事で既に対策済みだったため
	最 終 実績値	95箇所	